

# 和食の魅力を再発見！！！！

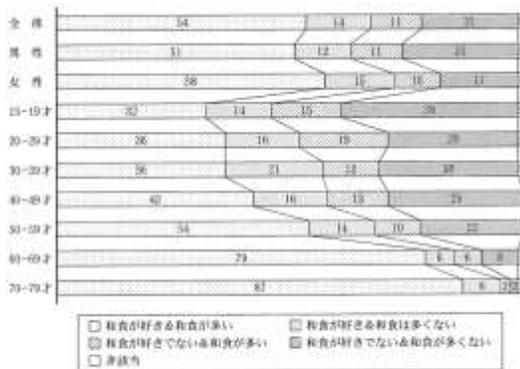
## ✿始めた動機

- ・和食が好きだから。
- ・日本の文化を伝えたかったから。
- ・和食の良さをみんなに知ってほしかったから。

## ✿最終的なゴール

- ・みんなに和食の良さを知ってもらう。
- ・食べてもらう。
- ・みんなで作ろう！

## ✿現在の状況



- ・上のグラフから若者の好き嫌いが激しい。
- ・和食を好んで食べない人がいる。
- ・和食が無形文化遺産に登録された
- ・和食より中華派や洋食派の人たちがいる

## ✿FW先

- ・苫小牧市にある「日本橋」さん
- ↓ **しかし**
- ・新型コロナウイルスの影響のため、いくことができず……



## ✿アクションプラン

- ・実際にみんなで作って食べる。
- ・現代の人の口にも合うような和食を作る。
- ・和食の良さをみんなに伝える。



## ✿理想の状態

- ・みんな和食が大好き
- ・外国人に和食の良さを伝えることができる
- ・和食を作ることができる

# 食事から世界を学ぼう！！

## 現状



Q1. 普段、外国人と関わる機会がある。



Q2. 外国人と会話することに不安がある



訪日外国人は年々増加し、異文化理解やコミュニケーション能力が求められるが、異文化に戸惑う人や外国人との会話に不安がある人が多い。→異文化交流イベントを開催して、解決を目指す

## フィールドワーク

名古屋市総務局企画部大学生政策部の奈良聡様に電話やメールで、「異国料理交流会」の詳細について伺った。  
→自己紹介の時間を長く設けたり、ジェスチャーゲームをしたりすることで外国人との仲を深めることができることを知った。

## 「たべでいー」食べて+スタディー (学ぶ)

日時 10月30日 (金) 時間 16:00~18:00 場所 家庭科室

活動内容 カナダ人から現地の英語のレシピと動画を貰い、シナモンシュガークッキーを作る。

Q. 外国人と会話することに不安がある。

参加前：全員が「あてはまる」と回答

参加後：3分の1が「あてはまる」、  
3分の2が「ややあてはまる」と回答

Q. 食事を通して異文化を学ぶことで深く、主体的な学びができた。

→参加者全員が「あてはまる」と回答  
カナダ人：楽しく学べて、多様性を認め合う事につながる

国を超えた不特定多数の人も、効果があるはず！

Q1. 食事に興味がある



「食事」に着目したのは◎興味があることからなら、主体的に学べるのでは？

## 学んだこと

外国人とのコミュニケーションや異文化理解に課題があることを知り食事を通して学ぶことが解決につながるということがわかった。また、イベントなどを通して他の人との交流が良い経験になり、やりがい、自信につながった。今後の活動に対してモチベーションが高まった。

# 服も心もLet's リメイク❀

## 現状

地域交流が減った  
理由  
交流の場が少ない

## 仮説

リメイクを通して  
交流の場を増やせば  
地域交流が増えるのではないか

## なんとまあ新型コロナウイルスの影響でステイホーム



### 活動①

5月～Let's make 布マスク♡

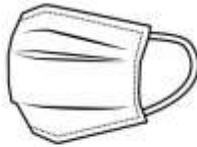
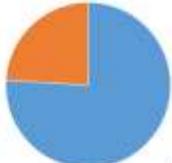
『Tシャツ1枚が布マスクに変身！！』



5月4日～8日 Online

### アンケート結果

Q1 現在(5/4)外出するときは紙マスク？布マスク？



※Instagramのストーリーにて

Q2 簡単に布マスクが作れるとしたら？



※Instagramのストーリーにて

コロナ禍で需要が高まった  
布マスクを、Tシャツ1枚か  
ら作ってみました！

インスタライブにて5回生8人と実施。

インスタグラムのアンケート機能を使  
って、マスクについて調査。

当時は紙マスクを使用している人  
が多かったが、布マスクの需要が  
ないことはなかった。

### 活動②

8月～Let's make shirt  
which we can wear♡

中古シャツを実際に着れるように作ってみよう



イベント開催に向けて、自分  
たちのリメイク技術向上のため、  
古着のシャツをリメイク  
してみた。ちゃんとできた。

## 反省・結論

コロナの影響でワークショップを開催することができなかった。  
そのため、地域との交流を増やすという目的を果たすことができ  
なかった。コロナ禍で活動を制限しないといけなかったが、  
自分たちなりにできることはやってこれた。

# アパレルブランドを立ち上げる

## 動機

将来につながる探究がしたかったから  
高校生ってどこまでできるの？と思ったから

自分の課題  
知識がない  
自分の実力を知らない  
基本的なスキルが足りない

世の中の課題  
コロナの影響で有名ブランドですら  
倒産している。  
衣類廃棄により地球の環境問題が  
懸念されている

FW  
10代でブランドを立ち上げた  
服飾学生SENAさん

ブランドを立ち上げるうえでの  
気持ちの持ち方や運営の  
分担の仕方などを知れた

## HRTシャツ作成

対象が決められたう  
えでのデザイン作成  
と、業者などの発注  
方法などが学べた

志望大学主催の高校生ファッ  
ションコンテストに応募

デザイン能力と実際に生地など  
を自分で選ぶ体験ができた

## 今後のプラン

学生のうちにブランドを作る  
↓  
ブランド立ち上げサービスを利用する

大学卒業後にブランドを作る  
↓  
学んだ内容を活かし、自力で頑張る

そのために

知名度を増やし人脈を広げ、拡散力をつける  
ブランドの方向性を固める  
自分にしかできないことを見つける  
客観的な評価を受ける  
同じ夢を持つ人と交流する